

ロックを聴かせて育てた野菜を販売＝フードロスの削減?! 麗澤大学の学生が「ロッキンベジタブル®」事業に参画 ～株式会社ノースエレメンツとの産学連携協定を締結～

麗澤大学(千葉県柏市/学長：徳永澄憲)と株式会社ノースエレメンツ(北海道札幌市/代表取締役：殿木達郎)は、産学連携による事業創造、人材育成、ネットワークの構築をはじめとする多岐にわたる協力を行い、地域の発展・活性化を目的に、2023年5月30日(火)に産学連携協定を締結いたしました。

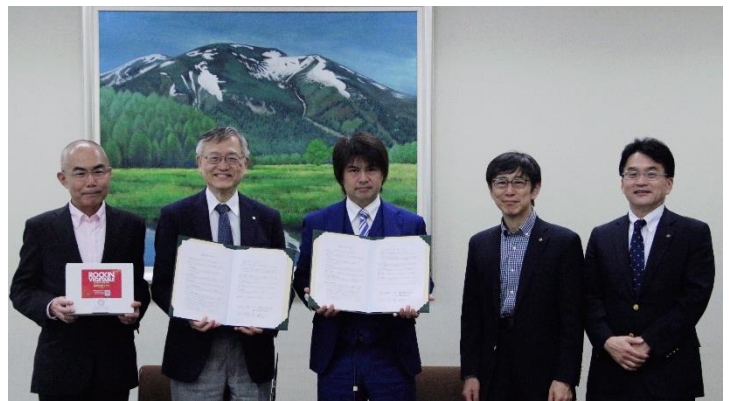
今回の産学連携協定を機に株式会社ノースエレメンツが取り組んでいる「ロッキンベジタブル®」事業に、本学の学生が参画いたします。「ロッキンベジタブル®」とは、ロックを聴かせて育てた野菜を指し、通常は破棄処分されてしまう規格外野菜であっても、ロックを聴かせて育てたという付加価値を与えて販売することで、フードロスの削減につなげることを目指すというものです。

ユニークなビジネスによる付加価値や社会貢献は、実証研究された例が少なく、学生が学問的に未開拓な領域に挑戦できるチャンスを、産学連携協定により創出いたします。

▼左から：籠地域連携センター長、徳永学長、殿木代表取締役、柴崎副学長、渡邊副学長

【主な連携内容】

1. 学生の「プロジェクト遂行型学習・課題発見解決型学習」の機会提供
2. 社会人向けの学びの提供
3. 他大学を含めた連携協力



締結式において本学学長徳永澄憲(とくながすみのみり)は、「産学連携を機会に、本学学生がノースエレメンツ社の殿木様や社員様から直接学ぶとともに、実務課題を題材に学生間で課題を議論しあい、実践力を身につけて、地域と世界に貢献できる品格あるグローバル人材に成長してくれると期待しています。」とコメントしました。

本学地域連携センター長・籠義樹(かごよしき)は、「学生が新しいビジネスに挑戦するフィールドにおいて良い機会であり、学生の研究の場や活躍の場として殿木様のフィールドをご共有いただけるのが、今回の協定の大きな意義だと思います。」と語りました。

株式会社ノースエレメンツ・殿木達郎(とのきたつろう)代表取締役は、「講義や演習で終わらず、学生のアイデアを具現化するために、ゼミナールと連携して、地域活性や地方創生の課題に取り組むことにしました。私たちでは思いつかないような10代・20代の学生のフレッシュな考え方が非常に刺激的で、課題を解決する糸口になると感じています。」と述べています。

【麗澤大学について】 <https://www.reitaku-u.ac.jp/>

麗澤大学は昭和10年、創立者の廣池千九郎(法学博士)が「道徳科学専攻塾」を現在のキャンパス(千葉県柏市光ヶ丘)に開塾したことから始まります。「知徳一体」という教育理念のもと、心豊かな人間性を養い、国際社会に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指し、教育改革を進めています。「THE日本大学ランキング」の国際性分野では2017年から連続して千葉県1位の評価を受けています。

【株式会社ノースエレメンツについて】 <https://north-e.net/>

商業、エンタテインメントを融合させたクロスプラットフォームのプロジェクトを開発し、様々なビジネス・デザインやコンテンツを制作する集団。各分野の専門家が国際的なネットワークにより構成されており、インターナショナルレベルでのビジネスを展開するビジネス・クリエイティブ・カンパニーです。アーティスト・クリエイター×コンテンツ・アイデアの力で社会課題を解決し、地方創生、農業6次化、観光インバウンドの事業に取り組んでいます。

【本件に関するお問合せ先】麗澤大学大学入試・広報課 担当：神作・阿部
 〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
 Email: koho@reitaku-u.ac.jp TEL: 04-7173-3136 FAX: 04-7173-3585
 大学公式サイト: <https://www.reitaku-u.ac.jp/>